

亜木津新聞

8月9日は世界先住民デー

いやー、連日の猛暑。気温が上がれば疲労度アップ。「自愛下さい」

閑話休題。8月9日は世界先住民デーだそうです。日本人は元々の先住民なのか、様々な場所から集団でやって来て、先住民と混ざりあって今の日本人となっているのでしょうか？周囲を見渡すと同じ日本人でも体格も、顔立ちも様々です。この多様な日本人はどこから来たのでしょうか？謎は尽きません。まずは北海道のアイヌ人、アメリカのインディアンの話から。
先住民の世界
アイヌ女性のいれずみ



いれずみをした女性

アイヌの成人女性には口の周りや手に刺青を入れる習慣がありました。理由には諸説あります。

- ・男性のひげを模した
- ・出産の痛みを予行練習
- ・神聖である蛇の頭の形を模した
- ・悪いものが入るのを防ぐため
- ・入れ墨は大人の女性の証であり、入れないと結婚や儀式への参加が許されず、亡くなっても「あの世」へ行けないと言われていました。

アイヌ民族博物館のサイトより

アメリカインディアンの羽根飾り



出陣用帽子

西部劇でおなじみのインディアンの戦闘帽子は、すべての部族の衣装ではなく、北米の中西部、ロッキー山脈の東側の大平原に住む12部族の戦闘帽でした。勇猛なフシの羽根は「勇気」を表し、酋長と戦闘員だけが着用出来ました。女性の戦闘員は「勇猛」と思われたくないためか、かぶりませんが、戦闘用にも使われますが、主に礼装として使用されたようです。

native languages of the サイトより



アボリジニの特猟

オーストラリアの先住民アボリジニのフーメランは投げたときの位置まで戻る遊び道具ではなく、刃のついた武器です。射程距離は手槍の3倍の200mもあり、見えないほどの高速で回転しながら、カンガルーを一撃で倒します。

australiannusunのサイトより

驚異の水中視力モーケン族



タイ西部、アンダマン海のスリラン諸島に海のジプシーと呼ばれるモーケン族が暮らしています。彼らは海中でも良い視力をもっていることで注目されています。

通常、人は海中で目を開けてもぼーと見えるだけで、視力は0.1も出ません。横浜市立大学のグループがモーケン族の視力を測定したところ、水中で1.0、地上では3.6〜9.0でした。

大きな湯田眼科院長のブログより

メキシコの美、オアハカの先住民



メキシコの世界遺産モンテアルバン市の都市オアハカには12の先住民部族がいて、ハンドメイドの民族服を披露します。圧巻の色彩美！

ON MY WAY (ブログ)のサイトより

ワダー族の美少年コンテスト



ニジェール国ワダー族の祭典。各家で最も美しい若者が、化粧をして目を大きく見開き、真っ白い歯をみせて踊ります。彼らは数秒ごとに表情を変え、歯と目の美しさを強調し、美を競い合います。

優勝者は片目を止めたまま、もう一方の目を左右に動かして女性審査員を魅了します。

NAVERまとめのサイトより

【加納さんの大富豪のお話】

ビルゲイツの夏休み



ヘリの発着場もあるクルーザー

夏休みです。ビルゲイツは、クルーザーで1週間家族と船旅を楽しみます。海に飽きたら、ヘリ

で陸に移動してテニスをします。クルーザーのレンタル料は一週間5億円です。ビルゲイツの資産は8兆9000億円ですから、毎日5億円使っても、48年かかります。スケールが大きく過ぎて、常人には理解するのは難しいですね。

【フジモンの今月の名言】



This is the mark of a really admirable man: steadfastness in the face of trouble.

(Brady Quote-7)

真に称賛に値する人間が持っている特徴とは、トラフル時の粘り強さである。

（ヘートーベン）

（1705-1827）ドイツの音楽家。日本では「楽聖」とも呼ばれる。（Wikipedia参照）

京セラの創設者、稲盛和夫氏は「著書『成功への情熱』の中で「ある人は成功し、ある人は失敗します。中略、その違いは、粘り強さと忍耐力です。」と述べられています。チャレンジャーには失敗や挫折はつきものですが、そこで人知れず努力を重ねることで壁は乗り越えられるのではないのでしょうか。使い古された言葉ですが「継続は力なり」は真実だと思います。まだまだ半人前の私ですが、諦めない強さも培っていきたくです。

*紙面の都合により、「ガスケツトのお話」は今号お休みします。



「トム・ナット・ザ・ファーム」
2013年・カナダ映画 102分
監督・脚本・編集・衣裳・主演：
ガザウェイ・ドラン
ガザウェイ・ドラン

事故で死んだ恋人ギョームの葬儀に参列するため、彼の美家の農場へ向かうゲイの青年トム。ところが農場へ着いてみると、ギョームの母はトムの事を知らず、2人の関係を唯一、知っている兄フアンには絶対にその事を口外するなと脅される。

19歳で監督デビューしたカナダの若き俊英ガザウェイ・ドランの監督4作目。少ないセリフと鮮烈な映像美で人間の複雑な内面をえぐりだす若き天才のサイコスララー。ストーリーが特に面白いわけではないのに、静かに迫る人間の狂気に画面に釘付けにさせられます。言葉では伝えにくいですが、映画全体の雰囲気にもまれる不思議な作品です。

ピカテリー加藤

